

神戸製鉄所火力発電所設置計画（規模と立地）

名 称	神戸製鉄所火力発電所（仮称） 設置計画
所在地	神戸市灘区灘浜東町 2 番地
出 力	新設 1 号機：65万 kW 新設 2 号機：65万 kW
燃 料	石炭
運転開始 時期	新設 1 号機：2021年度（予定） 新設 2 号機：2022年度（予定）



出典：神戸製鋼『環境影響評価準備書のあらまし』（平成29年7月）より

既設の石炭火力発電所（1号機・2号機）：140万kW

新設2基：130万kW

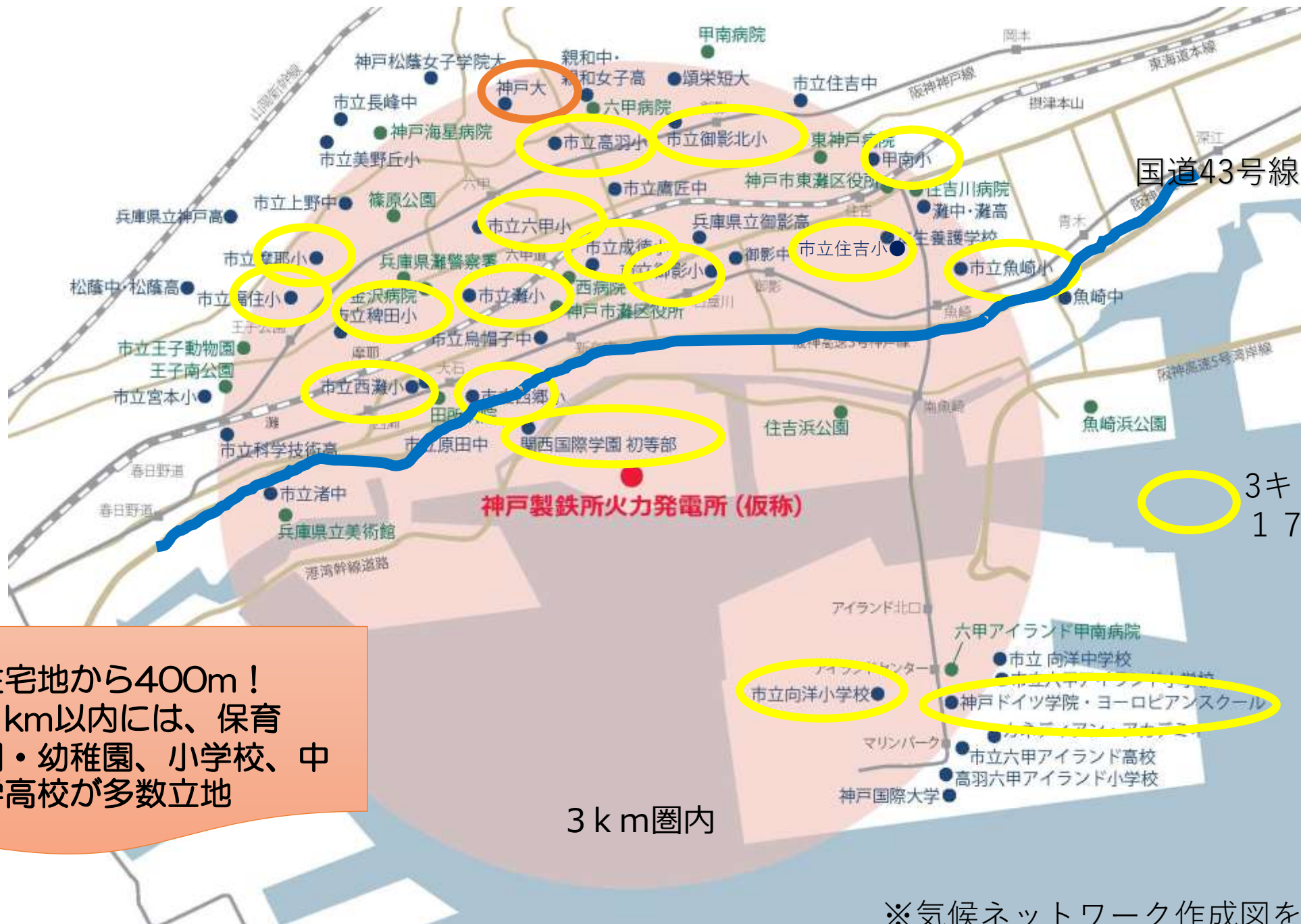
灘浜に、既設・新設合計で270万kWの石炭火力発電所が出現



稼働中
(既設)

新設

神戸製鋼『環境影響評価準備書のあらまし』掲載写真を加工したもの



※気候ネットワーク作成図を加工したもの

3/15

神戸石炭訴訟 行政訴訟 判決

私たちは
石炭ゼロを求めます

ACT NOW FOR
SUSTAINABLE
Court Freed COAL
POWER
Where to Go JAPAN?

石炭火力野放し
どうする日本!?

市民にCO2争う
権り求めず!

the
Slammed Door
to dispute
CO2
#peyandcoal

3/15判決を受けた新聞社説 神戸新聞

・神鋼火力判決 温暖化争う権利ないのか(3/17)

＞PM2.5が環境アセスの対象外である点について、「近年、この健康被害が世界的に問題になっているだけに、司法が踏み込んだ判断をしなかったことは残念だ。」

＞温暖化による被害について、判決が原告適格を認めず訴えを却下したことについて、「CO2排出について争う権利がないという門前払いには、疑問を抱く国民が少なくないのではないか」「CO2排出は気候変動による災害の原因になるなど『公害』と言える段階にある。」

出典：<https://www.kobe-np.co.jp/column/shasetsu/202103/0014157199.shtml>

3/15判決を受けた新聞社説 京都新聞

・石炭火力裁判 CO2排出は争えないのか(3/22)

＞PM2.5 が環境に与える影響などに踏み込まず門前払いをしたことは、環境アセスメント制度の存在意義を骨抜きにしかねないのではないか。

＞「日本の裁判は行政の裁量を広く認める一方、行政の判断や処分に対し住民が訴訟を起こす適格性を狭く捉える傾向があるとされる。今回の判決でも、それが明確に表れた。」「日本の裁判所も、従来の行政訴訟の判決枠組みに固執するのではなく、CO2排出がもたらす温暖化被害の本質に立ち入って審理するべきではないか。」

出典：<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/534239>

神戸発電所3号機 5/5 火入れ開始



火入れを知らせるチラシ

住民からの反響

7万部を配布

お知らせ

神戸において、新たな石炭火力発電所の 試運転が開始されました

神戸はどんなまち？

海と六甲山に抱かれた、日本有数の港まち、洋菓子のまち、異国情緒あるまち…として全国的に有名な神戸のまちに愛着を持っている方も多いと思います。しかし、違った一面があります。「石炭火力のまち」であることを知る人は少ないかもしれません…

今、地球環境を考えるうえで、大きな問題となっている石炭火力発電所が、神戸において新たに運転を開始しようとしています。発電所がもたらす環境への影響は大きなものです。

次の世代に魅力ある神戸をつなごう

神戸のまちを持続可能で、魅力あるまちとして、次の世代に引き継ぎたいと考え、石炭火力発電所の建設について、市民、行政、企業へ問題提起をしてきました。

毎日の生活に欠かすことのできない「電気」を、どのように作るかは、今を生きる私たちだけの問題ではなく、将来世代が暮らす地球環境へも大きく影響します。

私たちは、次の世代により良い環境を引き継ぐためには、社会の仕組みを変える必要があると考えています。神戸の石炭火力問題を考えるにあたって、必要な情報をとりまとめました。問題を一緒に考えるきっかけになれば幸いです。

灘浜にある神戸製鋼所の神戸発電所
2022年度には2基→4基になる予定



3号機 2021年5月5日 火入れ
2022年1月 営業運転開始予定
4号機 2022年度中 営業運転開始予定

神戸の環境と石炭火力問題について

Q1:神戸の空気を汚すのはだれ？

Q2:神戸に石炭火力発電所が増えるとどうなる？

Q3:いつまでに石炭火力をやめないといけないの？

Q4:日本にどれだけ石炭火力発電所があるの？

Q5:最新型の石炭火力は環境に良いのでは？

Q6:神戸の石炭火力発電所ってどこにあるの？

詳しくは裏面から



未来を変えるため
なにかができる？

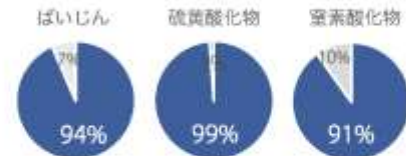
Q1:神戸の空気を汚すのはだれ？

神戸製鋼所は、神戸市における
大気汚染物質の**最大排出源**です。
※自動車等を除く。

神戸市は、一定規模以上の事業所と環境保全協定を締結しています。対象事業所に占める排出量割合を見てみると、神戸製鋼所が大部分を占めていることが分かります。

データ出典：神戸市平成30年度（2018年度）環境保全報告書等から推計

神戸市と環境保全協定を締結している事業所
（107事業所）に占める神戸製鋼所の排出量の割合



いずれの物質も、PM2.5の生成と関連する。

※比較しているため、3件にしても必ずしも100%にはならない。

Q2:神戸に石炭火力発電所が増えるとどうなる？

大気汚染物質、温室効果ガスの排出量が、**増える**

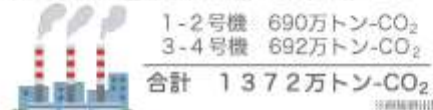
化石燃料を燃焼させる火力発電所からは、人体に有害な大気汚染物質、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出します。特に石炭火力発電所は、環境への影響が大きな発電所です。神戸市において、石炭火力発電所が、2基→4基になることで、増える影響を示します。

3-4号機 稼働後の年間総排出量（年間）

単位:t	現状 2007-2016	将来 稼働率80%	増加率
硫黄酸化物	426~520	706	136%
窒素酸化物	936~1334	1457	109%
ばいじん	45~142	199	140%

住民説明会において、「総排出量」を質問した際に、排出を「濃度で低減する」として、質問内容をすり替え、適切に回答しませんでした。

神戸発電所の温室効果ガス排出量（年間）



神戸市からの年間CO₂排出量

809万トン-CO₂
※焼却炉1基

4基の石炭火力発電所からは、神戸市からの年間排出量を上回る温室効果ガスが排出される。

データ出典：神戸市環境影響評価審査会資料 第161回 神戸市環境影響評価審査会 No.18
神戸市域の温室効果ガス排出状況2018年度（平成30年度）（神戸市全体）

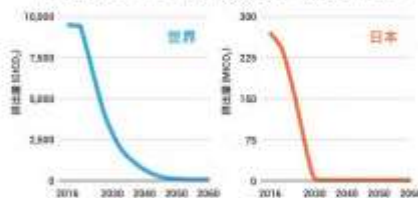
Q3:いつまでに石炭火力をやめないといけないの？

石炭火力は、世界で2040年 日本では、**2030年に全廃が必要**

2020年10月、国会で「気候危機」が宣言されました。気候危機を回避するには、温室効果ガスを大幅削減する必要があります。国連のアントニオ・グテーレス事務総長は、気候危機をうけ、各国の削減の取り組みを加速するように要請しています。世界において主要排出源である「石炭火力」について、期限を切って**撤退**することを要請しています。

“先進国が2030年までに、ほかの国は40年までに、石炭火力から撤退する必要がある。石炭火力発電所の新設を正当化できる場所はどこにもない。”
(日経新聞2021/4/21)

パリ協定と整合する石炭火力からの排出経路



2050年には、「実質排出ゼロ」を実現する人間活動による排出と吸収をバランスさせる必要

データ出典：Climate Analytics「パリ協定に基づく石炭火力フェーズアウト」2018, より作成

ロースクール生を迎えて
行政訴訟 控訴審期日開始
9月13日



神戸の石炭火力発電を考える会 HP

<https://kobesekitan.jimdo.com/>

神戸石炭訴訟 HP

<https://kobeclimatecase.jp/>